

新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開の留意事項

学校再開に伴いまして、本校では、下記のように対応いたします。御理解と御協力をお願いいたします。

1 保健管理等の徹底

(1) 児童の健康チェックを強化します。

- ・登校前に必ず自宅での検温をお願いします。(検温カード提出)
- ・担任は、検温カードをチェックするとともに、健康観察時に健康状態を把握します。
- ・登校後に不調を訴えた場合は必ず検温を行い、保護者に連絡をして速やかに早退させます。

(2) 基本的な感染症対策の徹底

- ・石けんによる手洗い(30秒以上)を励行します。(休み時間毎、給食前、トイレ後、掃除後など)
- ・咳エチケットを徹底します。(マスクの着用)

(3) 教職員は、児童下校後、校内を消毒します。



毎日、きれいなハンカチ(タオル)とティッシュを持たせてください。

2. 保健室での対応について

保健室の中は、けが等の手当てをする場所と、発熱等でお迎えを待つ場所に分けて対応します。

○発熱等の場合

- ・熱がいつもよりも高い場合、または体調不良を訴えている場合は、速やかに保護者に連絡をして早退させたいと思います。御理解ください。
- ※その際、児童を待機させる場所は、保健室内のテントブースです。
- ※発熱児童に対応した職員は、必ず手洗いと消毒を行います。

3. 教室での対応について

(1) 教室内での距離の取り方

- ・机は1～2m離します。
- ・授業中も外側と廊下側の窓を開け、密閉を避けます。休み時間ごとに窓を大きく開けて換気を行います。
- ・近距離でのグループを作った話し合い等は行わないようにします。
- ・列を作って並ばせる場合も、1～2m間隔をとるようにします。

(2) 給食

- ・配食や片付け等も、距離を意識させます。
- ・原則、自分で食べた食器は自分で片付けさせます。
- ・全員前を向いて食べます。会話を控えさせ、お昼の楽しい校内放送(音楽・昔話等)で楽しめるようにします。

(3) 歯みがき

- ・自席で歯みがきをさせて、水道を使うときは、水が跳ねないように低い姿勢で行わせ密集しないよう時間差を設け指示をします。

(4) 体育科

- ・距離を意識させ、密接や密集を避けるようにします。

(5) 家庭科

- ・調理実習等は、しばらくの間行いません。

(6) 音楽科

- ・楽器を弾いたり歌を歌ったりする場合等は、人との間隔をあけて向き合わないようにします。

(7) 登下校

- ・距離を意識し、会話は控えさせます。スクールバス内は原則、会話は我慢します。

(8) 児童指導

- ・偏見や差別が発生しないよう、新型コロナウイルス感染症についての正しい知識を伝えていくことができるようにするとともに、誰もが感染するかもしれないということも発達段階に応じて理解させるようにしていきます。

- ・感染防止、感染防止とって、無理に子供たちを指導していくのではなく、「自分のためにも まわりの友達のためにも、気をつけていこう。」という姿勢を高めていくことができるように指導していきます。

(9) その他の教育活動 手洗い・うがい・消毒等を徹底し、人との距離を意識させます。

※熱中症対策として、各担任は、暑いときには人との距離を離す等の対応をした上で、適宜マスクをはずすように指導していきます。

◎出席停止(欠席扱いにはならない)の取扱いについて

- 感染(または疑い)……出席停止(治療するまで)
- 濃厚接触者……出席停止(感染者と最後に濃厚接触した日から14日間)